

タイムテーブル

2024年 2月17日(土) 10:00-18:00

筑波大学 体育芸術エリア 5C棟 216・220室 (体バチ)

時間	演者・演題	司会：高橋 佳那子
10:00-10:05	開会挨拶 西保 岳 (筑波大学 体育系 ARIHHP 教授/体育系長) センター長挨拶 高橋 英幸 (筑波大学 体育系 ARIHHP 教授/ARIHHPセンター長)	
10:05-11:55	スポーツ庁委託事業「先端的スポーツ医・科学研究推進事業」シンポジウム 若手研究者育成 座長：高橋 英幸 ① パフォーマンス向上のための体・医・工融合研究・教育プログラム 坂入 洋右 (筑波大学 体育系 ARIHHP 教授) ② HPSCでハイパフォーマンススポーツ研究に携わるということ 清水 和弘 (日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター 前任研究員) 大学間連携による学際的研究 座長：麻見 直美、松井 崇 ① ウェアラブル生体センサを活用したコンディショニング評価の実現 清野 健 (大阪大学 大学院 基礎工学研究科 教授) ② 皮膚微小還流を用いた極低侵襲生体成分濃度モニタリングシステム 鶴岡 典子 (東北大学 大学院 工学研究科 助教)	
11:55-12:40	ランチ 場所：5C棟317室	
12:40-13:20	ポスターセッション 場所：5C棟220室 (体バチ) 12:40-13:00 ポスターNo. 奇数 13:00-13:20 ポスターNo. 偶数	
13:25-14:55	共同利用・共同研究拠点シンポジウム ARIHHP戦略的連携強化プロジェクト 座長：中田 由夫、藤井 直人 ① Cardiac-Loocomotor Synchronizationを活用した革新的トレーニングアシスト技術の開発 菅原 順 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 身体情報研究グループ 研究グループ長) ② 高速応答する水分・湿度センシングの健康・スポーツ科学への展開 加納 伸也 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター ウェルビーイングデバイス研究チーム 主任研究員) ③ 全国企業におけるテレワークの実態とその健康影響：テレワーカーの身体活動量を増やすには？ 甲斐 裕子 (公益財団法人 明治安田厚生事業団 体力医学研究所 副所長/上席研究員)	
14:55-15:05	Coffee Break	
15:05-16:05	ARIHHP公募型研究プロジェクト 座長：下山 寛之、小崎 恵生 ① 水中キック泳中のスイマー足部周りの流れ 下門 洋文 (新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 講師) ② 音楽や香りと合わせた運動の継続時間はポジティブ感情の誘発に影響するか？ 福家 健宗 (北海道医療大学 全学教育推進センター 助教) ③ ヒトの身体と運動の生体力学的相互関係の理解を目指す取組 佐渡 夏紀 (筑波大学 体育系 助教) ④ 複数人がプレーするスポーツ場面における視覚探索および状況判断 國部 雅大 (筑波大学 体育系 ARIHHP 助教)	
16:05-16:15	Coffee Break	
16:15-17:45	International Symposium "Optimal gaze behavior with eye-head interaction in active visual environments" ① "Properties of gaze behavior with eye-head coordination in athletes" Seiji Ono (ARIHHP, Institute of Health and Sport Sciences, University of Tsukuba, Japan, Professor) ② "Optimal gaze stabilization by the vestibulo-ocular reflex during passive and active head rotations" Stefan Glasauer (Institute of Medical Technology, Brandenburg University of Technology Cottbus-Senftenberg, Germany, Professor / Chair of Computational Neuroscience)	Chair : Seiji Ono
17:45-17:50	閉会挨拶 征矢 英昭 (筑波大学 体育系 ARIHHP 教授/ARIHHP副センター長)	
17:50-17:55	写真撮影	
18:00-19:00	情報交換会 場所：5C棟317室	